

後期基本計画 令和 2年度 施策方針評価書

政 策：04 ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち

基本施策：01 活力ある都市づくりの推進

施 策：02 みんなで考え、使い、育む公共交通

施策担当職・氏名 都市政策課 総括主査 佐藤 志貴

1. 施策の令和 2年度までの実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

各利用者層を対象とした公共交通の案内ツールを作成して公共交通の利用促進を行うと共に、鉄道、バス路線の経営支援により路線の維持確保を行うことで市民に移動や交流のしやすい交通環境の提供を図ります。また、市内における便利で利用しやすい交通環境を提供するため、小岩井駅周辺の整備や市役所周辺の交通拠点整備について検討します。

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 市内のバスや電車は便利で利用しやすいと思っている人の割合 単 位 %	34.7	34 32	36 35.2	38 -	40 -	40 -	C 9.4
	単 位							
	単 位							

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推 移	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
1	2022 菓子駅複合交通施設管理運営事業 I GR菓子駅の1日平均乗降人員 単 位 人/日	目標値	994	994	1,030	991	991	991
		実績	1,030	991	1,001	854	-	-
2	2285 バス路線維持対策費補助事業 定期路線バスが区域内で運行されている自治会数 単 位 地区(全32自治会のうち)	目標値	30	30	31	32	32	32
		実績	30	30	31	32	-	-
3	2301 交通政策推進事務 市内全駅(滝沢/菓子/大釜/小岩井)の1日平均乗降人員の合計 単 位 人/日	目標値	6,000	6,000	6,022	5,847	5,847	5,847
		実績	6,022	5,847	5,665	4,827	-	-
4	3627 交通広場維持管理事業 I GR滝沢駅の1日平均乗降人員 単 位 人/日	目標値	3,095	3,095	3,132	3,162	3,162	3,162
		実績	3,132	3,162	3,044	2,533	-	-
5	15304 JR小岩井駅活性化事業 JR小岩井駅の1日平均乗降人員 単 位 人/日	目標値	992	992	888	888	888	888
		実績	924	888	856	740	-	-

後期基本計画 令和 2年度 施策方針評価書

政 策 : 04 ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち

基本施策 : 01 活力ある都市づくりの推進

施 策 : 02 みんなで考え、使い、育む公共交通

施策担当職・氏名 都市政策課 総括主査 佐藤 志貴

2. 施策の実現に向けての令和 2年度までの取り組み状況を分析する

(1) 施策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
	<ul style="list-style-type: none"> バス路線の維持に対し、国、県及び沿線市町などと連携を図り補助金を支出しました。 I G Rいわて銀河鉄道線の車両更新費のための基金造成を今年度も県、沿線市町と行いました。 平成29年9月に策定した「滝沢市地域公共交通計画網形成計画」に基づき、各施策に取り組みました。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける交通事業者への支援金の交付や、市民及び学生への公共交通回数券購入等の補助を行いました。 巢子駅駐車場について、満車対策及び有料化について検討を行いました。 小岩井駅活性化事業について、駅前広場及び公衆トイレの整備について事業を推進しました。

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、令和 2年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
	<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中心拠点形成に向けた市内交通網の見直しや交通不便地域の新たな交通モードの運行について検討します。 巢子駅駐車場の満車対策及び有料化について検討します。 <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通不便地域（姥屋敷及び柳沢地区）の新たな交通モードの運行計画の検討を行いました。 巢子駅駐車場の利用者へ、満車対策及び有料化に関するアンケート調査を実施しました。

3. 施策の実現に向けての令和 2年度実施後での変化を認識する

(1) 施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
	公共交通を取り巻く環境は日々変化しています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、公共交通機関の利用者が減少し、交通事業者の経営が悪化しています。

(2) 基本施策との関連性から施策の見直し

A	必要なし
	基本施策達成のため、引き続き同一の施策の実施が必須であるため、見直しの必要はありません。

4. 施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 4年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
	<p>【今後の方向性】</p> <p>引き続き利用しやすい交通網の整備に向け、交通結節点の整備や利用促進など交通の利用に関する取組を進めます。</p> <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中心拠点形成に向けた市内交通網の見直しや交通不便地域の足の確保 滝沢中央スマートインターチェンジ開通後の利用促進 小岩井駅活性化事業について、駅前広場及び公衆トイレ整備後の計画検討

